

# 第1回津波対策地区協議会の開催 (H27.10.1)

平成27年度第3回  
静岡県河川審議会  
山・火振 - 資料 - 6

伊豆市土肥地区において、市とともに地元住民と津波対策の現状を情報共有し、津波に対する様々な意見を出し合う「第1回津波対策地区協議会」を開催しました。今年6月に公表された津波高さや津波対策の基本的な考え方を説明した後に、ワークショップにより津波に対する意見を交換し、各グループで発表を行いました。

## 開催概要

- 会議名: 第1回津波対策地区協議会
- 開催日: 平成27年10月1日(木曜日)
- 参加者: 土肥地区地域住民40名



## ワークショップ

- 5つのグループに分かれ、津波に対する意見を交換し、各グループで発表しました。



## 主な意見

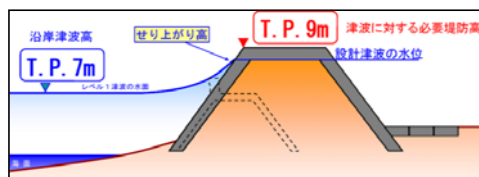
### 津波対策施設の整備に関して

- 一般の住民は(海岸への)防潮堤の整備を希望している。
- 河川護岸の嵩上げが必要。
- 河川(山川・火振川)への水門設置が必要。
- 国道の嵩上げなど、防潮堤以外の防護方法はないか。
- 防潮堤を整備すると観光への影響が大きい。
- 景観が悪くなる。
- (防潮堤など)全体の高さを合わせなければいけない。
- 防潮堤は津波に耐えられるのか?
- 防潮堤以外の津波対策を考えるべき。
- 水門の開け閉めはできるのか。
- 観光(景観)、産業、人命を守る、生活を守るそれぞれの観点でもっと意見交換が必要。

### 避難に関して

- 避難といっても老人には難しい。
- 避難路の整備が必要。
- 揺れている時間は避難できない。実際にはどの程度の時間があるのか。
- 土砂災害危険区域に対する整備も必要ではないか。

## 行政からの説明



L1津波のイメージ図



L1津波(TP+9m)の推定ライン

- 想定されるレベル1津波とレベル2津波について説明。
- レベル1津波に対する必要堤防高の推定ラインを示した写真を紹介。
- レベル1の津波対策施設の整備が困難な地域は、ソフト対策のウェイトを大きくすることで対応。
- 堤防の整備高さは、今後地元の意見を聞きながら決めていく事を報告。

## 今後の予定

次回(12月開催予定)は、今回のワークショップで最も意見が多かった津波対策のハード面を整備することにより問題となる景観や観光について話し合ってもらい、土肥地区としては、どのような対策が望ましいか、検討を進める予定。